

豊中市（仮称）中央図書館整備計画 【概要版】

1 計画の目的

豊中市は、「豊中市（仮称）中央図書館基本構想（令和3年2月策定）」を具現化する「豊中市立図書館みらいプラン（令和5年3月策定）」において、3か所の候補地を示し、令和5年度には（仮称）中央図書館の第一優先候補地を阪急電鉄宝塚線曽根駅前の民有地に選定しました。併せて（仮称）中央図書館の整備に向け、市民ワークショップやアンケート調査等を実施し、市民ニーズの把握に取り組みました。それらを踏まえ、（仮称）中央図書館の整備・運営に係る内容を示した「豊中市（仮称）中央図書館整備計画」を策定しました。今後は本計画に基づき（仮称）中央図書館の整備・運営体制の構築を進めます。

なお、本計画期間は令和7年（2025年）2月から（仮称）中央図書館整備までとします。

2 市民・団体等のニーズ

（仮称）中央図書館については、図書館協議会からの意見書をはじめ、「基本構想」「みらいプラン」「整備計画」の策定過程において市民・事業者の皆さまから多くの意見をいただきました。この意見をもとに、市民の皆さまとワークショップを実施し整備計画の検討を進めました。

年度	実施状況	計画
平成30年度	・豊中市立図書館における中央図書館機能について意見書（図書館協議会）	基本構想
令和元年度	・市民及び来館者アンケート調査	
令和2年度	・図書館関係団体ヒアリング ・オンラインミーティング ・基本構想のパブリックコメント	
令和3年度	・サウンディング型市場調査（事業者）	—
令和4年度	・市民ワークショップ ・みらいプランのパブリックコメント	みらいプラン
令和5年度	・市民ワークショップ ・図書館関係団体アンケート ・中高生アンケート ・子育て世帯アンケート ・障害者アンケート	整備計画
令和6年度	・豊中市LINEアカウント登録者アンケート ・図書館利用者アンケート（来館者） ・市民ワークショップ ・整備計画のパブリックコメント	

3 サービス方針

あらゆる図書館サービスの中心となるための5つのサービス方針を示します。

サービス方針	
①人と情報をつなぎ きたくなる中央館	・「知の拠点」の中核施設として、多様な資料や情報の収集・保存・提供 ・開架エリア（利用者スペース）の魅力高め、市民が滞在できるスペースの確保 ・市民の学びや情報取得及び発信の支援、図書館からの情報の発信等
②人と人をつなぎにぎ わい溢れる中央館	・人が集い交流を生むスペースの設置やイベント・講座などの事業の市民協働
③図書館ネットワーク でサービスの充実を 図る中央館	・図書館ネットワークの中核として、地域館や分館・学校図書館との連携 ・地域館や分館、図書サービスポイント、学校図書館等への支援 ・関係機関等と連携し、全市的な図書館サービスの充実
④すべての人が利用し やすい中央館	・利用者層を広げ、多世代に親しまれる図書館（利用しやすさNo.1をめざす） ・誰もが安心して安全に利用できる施設の整備
⑤まちの魅力を高める 中央館	・豊中のシンボルとなる中央館をめざし、様々な資源と有機的につながり、まちを活性化 ・公民館と一体的に取り組みを推進し、他の公共施設と共に文化の発展に寄与 ・公園の活用や商業施設などとの連携

4 サービス計画・整備計画

5つのサービス方針のもとにサービス計画、諸室・設備等の整備方針等を示します。

(1) サービス計画と諸室・設備等の整備方針等

サービス計画		諸室・設備等の整備方針	関連する諸室・設備等
① 人と情報をつなぎ行きたくなる中央館	魅力ある蔵書の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○市民ニーズ等に応じた資料を提供できる開架書架や新聞・雑誌コーナーの整備 ○地域資料や市政資料の専用書架、展示コーナーの整備 ○バリアフリーに配慮した誰もが利用できる開架書架の整備 ○蔵書更新を行いやすい作業スペースの整備 ○資料確保に必要な閉架書庫の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般資料、10代向け資料、児童資料、障害者用資料、医療・健康情報、学術・専門書、レファレンス資料、地域や市政資料などの開架書架 ・新聞・雑誌コーナー ・総合窓口 ・レファレンス相談窓口 ・参考室 ・展示コーナー ・オープンスペース ・事務室スペース ・作業スペース ・閉架書庫 ・情報通信設備・情報端末機器
	学術的・専門的な資料の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○学術書・専門書を提供できる開架書架や適切に保管できる閉架書庫等の整備 ○国立国会図書館等の取り寄せ資料の保管・複写作業スペースの整備 	
	レファレンスサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者が相談しやすいレファレンスサービスが提供できる場の整備 ○自ら調べやすい書架の配置と情報端末機器の設置 	
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○エントランス、オープンスペース、閲覧スペース等でのテーマに応じた展示コーナーの整備 ○ホームページやSNS等のデジタル情報発信を行う情報機器の設置 	
② 人と人をつなぎにぎわい溢れる中央館	にぎわいの創出	<ul style="list-style-type: none"> ○自然と交流が生まれるオープンスペースの整備 ○親子で過ごしやすい環境整備 ○ビジネスで利用しやすい環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスペース（※再掲） ・児童資料の開架書架・閲覧スペース（※再掲） ・授乳室、親子トイレ、読み聞かせスペース ・オフィスブース ・ビジネス資料の開架書架 ・パソコン等利用可能な閲覧席 ・集会室や研修室（グループ学習室） ・団体貸出資料倉庫 ・ボランティア支援室 ・階段
	市民との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○市民や団体と協働し事業を推進するための場の整備（打合せ、イベント等） 	
	こども・若者が学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○館内見学や職業体験しやすい図書館の整備 ○地域の大学や専門機関等と連携した学びの場の整備 	
③ 図書館ネットワークでサービスの充実を図る中央館	ネットワークの中核	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館全体を統括し、事業展開の推進とリスクへの対応に必要な整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室スペース（※再掲） ・情報通信設備・情報端末機器（※再掲） ・ストックスペース、荷捌きスペース ・人荷エレベーター ・駐車スペース
	資料の物流	<ul style="list-style-type: none"> ○円滑な図書の物流支援を支えるバックヤードの整備 	
	地域館への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○地域情報の収集・保存・提供・発信の支援、地域館の企画行事の支援に必要な整備 	
	分館・図書室への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○分館・図書室への資料提供・情報発信の支援、特色ある分館づくりの企画に必要な整備 	
	図書サービスポイントの運営	<ul style="list-style-type: none"> ○図書サービスポイントの運営支援に必要な整備 	
	学校図書館への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館の運営支援に必要な整備 	

サービス計画		諸室・設備等の整備方針	関連する諸室・設備等
④ すべての人が 利用しやすい 中央館	利用しやすい環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○「にぎやか」、「静か」の音のゾーニング、「飲食可能な閲覧スペース」などによる利用しやすい空間の整備 ○座席、机、広さ、眺望など利用者の使い方に合わせて選択できる多様な閲覧環境の整備 ○子どもや子育て世代、若者、障害がある人などに配慮した環境整備 ○個人からグループまで、多様な学びの場の整備 ○予約資料受取コーナーや24時間予約貸出しによる図書の貸出・返却の場の整備 ○情報端末が利用しやすい快適なデジタル環境の整備 ○利用しやすい駐輪場・駐車場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合窓口、エントランス、通路、エレベーター、階段（※再掲）、トイレ、案内サイン ・閲覧スペース（※再掲）、静寂読書室、対面朗読室・調整室 ・携帯電話ブース ・授乳室（※再掲）、一時保育スペース ・自学自習室 ・集会室・研修室（グループ学習室）（※再掲） ・予約資料受取コーナー ・24時間予約資料貸出ロッカー ・図書館閉館時返却ポスト ・情報通信設備・情報端末機器（※再掲） ・駐輪場、駐車場 ・電算室
	アウトリーチサービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ○動く図書館の巡回サービス運用スペースの整備 ○郵送・宅配事務スペースの整備 	
	デジタル化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○非来館型サービスや図書館内のデジタル化を支える情報通信設備の設置 ○閲覧室・集会室の電子予約システムや電子管理システムの設置 	
⑤ 高める魅力 を中央館	他の公共施設や関係機関との連携	○中央公民館など公共施設と連携しやすい配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ・総合窓口、エントランス、通路、エレベーター、階段、案内サイン（※いずれも再掲） ・倉庫
	公園の活用	○公園での活動を実施する備品・設備の確保	
	商業施設等との連携	○テナントとの連携、建物全体で連携可能な動線整備（階段やエレベーター）	
	まちなみの形成	○建物敷地内のオープンスペースにおけるデザイン配慮	

（２）諸室の分類及び規模

分類	主な諸室	面積（㎡）
(1) 利用者スペース		約 2,700
ア) 一般閲覧スペース	総合窓口、一般資料（開架）、10代向け資料（開架）、ビジネス資料（開架）、静寂読書室	約 1,000
イ) 子ども関連スペース	児童資料（開架）、読み聞かせスペース、サービスカウンター、団体貸出資料倉庫、授乳室、親子トイレ、一時保育室、飲食可能スペース	約 800
ウ) 障害者関連スペース	障害者用資料（開架）、対面朗読室、調整室、郵送貸出室	約 100
エ) レファレンススペース	レファレンス相談窓口、レファレンス資料（開架）、地域や市政資料（開架）	約 300
オ) 新聞・雑誌スペース	新聞・雑誌コーナー	約 100
カ) 学びのスペース	集会室、研修室（グループ学習室）、自学自習室、ビジネスブース	約 400
(2) 交流スペース	オープンスペース	約 200
(3) 保存スペース	閉架書庫、児童資料書庫	約 300
(4) 管理スペース	事務室、電算室、作業スペース、ボランティア支援室、職員更衣室、休養室、来客対応スペース	約 400
(5) 共有スペース	予約資料受取コーナー、携帯電話ブース、カームダウン・クールダウンスペース	約 100
(6) 配送スペース	動く図書館等駐車スペース、学校図書館・図書館間物流等ストックスペース	約 200
(7) 駐車・駐輪スペース	来館者駐車・駐輪スペース	共用
(8) その他	廊下、設備スペース、倉庫、返却ポスト、予約資料貸出ロッカー等	約 1,100
計		約 5,000

※諸室・面積は今後の設計過程で変更されることがあります。

(3) 機能配置

2階

● 主な機能

- ・ 児童資料（開架）
- ・ 読み聞かせスペース
- ・ サービスカウンター
- ・ 団体貸出資料倉庫
- ・ 授乳室、親子トイレ
- ・ 一時保育室
- ・ 飲食可能スペース

子ども関連スペースでは、
親子でゆっくりと過ごして
もらえるね！

※1階には動く図書館などの駐車・作業スペース
のほか、返却ポストの設置を予定
※今後の設計過程で変更されることがあります。

オープンスペースは、
多世代が交流できる場所！

● 主な機能

- ・ オープンスペース、
- ・ 館内専用階段、エレベーター

勉強するなら自学自習室。
静かに読むなら静寂読書室。

● 主な機能

- ・ 総合受付
- ・ 一般資料
- ・ 10代向け資料
- ・ 新聞・雑誌
- ・ 自学自習室
- ・ 静寂読書室
- ・ 予約資料受取コーナー ほか

閉架書庫

エントランススペース

一般開架スペース

子ども関連スペース

オープンスペース

● 主な機能

- ・ 飲食可能スペース
- ・ 携帯電話ブース
- ・ エレベーターほか

エントランスで、
飲食ができるんだ！

館内階段



館内エレベーター



一般エレベーター

(3) 機能配置

3階

● 主な機能

- ・レファレンス機能
- ・相談窓口
- ・インターネット検索
- ・データベース検索システム
- ・事務スペース ほか

わからないことは
気軽に相談できるよ!



一般開架スペース

交流スペース

集会室

研修室

● 主な機能

- ・障害者資料
- ・対面朗読室
- ・ボランティア支援室 ほか



豊中ならではの魅力
に胸がトキメク~



医療やビジネスに
役立つ機能も充実

● 主な機能

- ・医療・ビジネス資料
- ・ビジネスブース

● 主な機能

- ・地域資料コーナー



館内階段



館内エレベーター



一般エレベーター

5 管理運営計画

(1) 蔵書マネジメント

基本構想で示した豊中市立図書館の蔵書構築の方針のもと、中央館における蔵書計画を示します。

中央館の蔵書構築の方針（基本構想）	
蔵書構成	入門書から専門的レベルの資料、子どもから成人まで幅広い世代の知的好奇心に応える資料を収集。また、レファレンスコレクションや豊中市関連資料、図書館利用に障害のある人のための資料（音声デージー図書・点字図書など）を集約
蔵書数	児童書や成人書、専門書などの資料の提供と保存、地域館・分館との蔵書数を勘案し、約 55 万冊と設定（開架：約 30 万冊、閉架：約 25 万冊）。 想定資料数：一般書 165,000 冊、参考図書 30,000 冊、児童書 105,000 冊

中央館の蔵書計画	
①蔵書数	<ul style="list-style-type: none">・市民ニーズ調査の結果や市立図書館全体の書庫機能などから、基本構想の蔵書構築の方針を再検討・約 40 万冊（開架：約 25 万冊、閉架：約 15 万冊）・開架想定資料数：一般書 165,000 冊、参考図書 30,000 冊、児童書 58,500 冊・蔵書の充実や落ち着いた読書環境とともに、会話しながら過ごせる場所や子どもが安心して過ごせる場所、親子向けのイベント開催など、市民の多様なニーズを実現するため、利用者スペースをゆとりある空間として整備
②学校図書館支援資料・団体貸出資料	<ul style="list-style-type: none">・学校図書館やこども園・子ども文庫などの団体を支援する資料を収集・提供・学校図書館支援ライブラリーの図鑑セットやサポートパックなどは支援専用として運用
③障害者用資料・外国語資料	<ul style="list-style-type: none">・多様な読書ニーズに対応し、点字図書や音声デージー図書等のほか、外国語資料を収集・提供
④蔵書更新	<ul style="list-style-type: none">・常に同じ資料が書架に並んでいる状態が続くと、その書架は市民にとって次第に魅力の少ないものとなる傾向。そうならないために新しく図書を受け入れ、古くなったものは書架から取り除き蔵書の更新が必要。蔵書数を増減させながら、市民と資料をつなぐ機能をはたす

(2) 施設の管理運営

① 管理運営方式

豊中市立図書館は、基本構想及びみらいプランを策定し、(仮称)中央図書館を核に新たな図書館サービス網の構築に取り組んでいます。引き続き、市民協働や学校連携など本市図書館の強みを活かしながら、新たな運営体制の確立、図書館の資源を活かしたまちづくり、加速するデジタル化の進展への対応などに取り組んでいくため、図書館運営については直営で行います。維持管理は計画地が民有地であり、建設も民間事業者が行うことから、今後の協議の中で検討します。

② 開館時間・休館日

通勤・通学者や子育て世帯等、市民の多様なライフスタイルを考慮するとともに、図書館ネットワークを統括する中央館としての役割や、駅前立地の利点、周辺地域の魅力を高めるまちづくりの視点等を踏まえながら、開館時間及び開館日を職員体制とともに検討します。

令和 7 年（2025 年）2 月 豊中市教育委員会

